

スポーツメカニクス科

2026年度 授業計画

時期	3年B巡	単元	実習	教科名	応用実習2
科目	実習	教科書等 持参品	作業用グローブ	発行日	2026年4月1日
総時限	39時限			教科 担当	青田
総時間	62.4時間				神林
単位数	2				若林 (外部講師)

1. 実務経験のある教員による授業科目 該当

- ・工作、金属加工の経験のある教員が、材料のカット、溶接、加工技術を指導する。

2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）

- ・課題の制作を通して、工作、金属加工で習得した技術を習熟する。
- ・課題の制作を通して、工作、金属加工で習得した技術の応用力を養う。

3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）

- ・設計通りの制作をして、ドリフトカートのステアリング部分のフレーム加工及びステアリングラック、シャフト、ハンドルの取り付けを完成させる。

4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）

- ・各役割での取り組み姿勢及び行動をルーブリック表にて評価する。

5. 準備学習

- ・工作、金属加工で習得した技術を復習しておく。

6. 学修時間と単位

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。

1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

スポーツメカニクス科

2026年度 授業計画

時期	3年B巡	単元	実習	教科名	応用実習2	
7. 授業概要 (時限ごとの主な授業内容)					8. 教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	搭載するステアリングラックの選定				電動ドリル	5
2	フレームを加工して変更するキャスター角の設定				ディスクグラインダー	5
3	フレーム切断及び加工				金属用ハンドソー	1
4	フレーム切断及び加工				プラズマ切断機	1
5	フレーム切断及び加工				ガス溶接機	1
6	フレーム切断及び加工				半自動溶接機	1
7	フレーム切断及び加工				MIG溶接機	1
8	フレーム切断及び加工				TIG溶接機	1
9	フレーム切断及び加工				角材	適宜
10	フレーム切断及び加工				丸パイプ	適宜
11	フレーム切断及び加工				L字アングル	適宜
12	フレーム切断及び加工				ステアリングラックセット	1
13	フレーム切断及び加工					
14	フレーム切断及び加工					
15	フレーム切断及び加工					
16	フレーム切断及び加工					
17	フレーム切断及び加工					
18	フレーム切断及び加工					
19	フレーム切断及び加工					
20	フレーム切断及び加工					
21	フレーム切断及び加工					
22	フレーム切断及び加工					
23	フレーム切断及び加工					
24	ステアリングラック取り付け					
25	ステアリングラック取り付け					
26	ステアリングラック取り付け					
27	ステアリングラック取り付け					
28	ステアリングラック取り付け					
29	ステアリングラック取り付け					
30	ステアリングラック取り付け					
31	ステアリングラック取り付け					
32	トー及びアッカーマン調整					
33	トー及びアッカーマン調整					
34	トー及びアッカーマン調整					
35	トー及びアッカーマン調整					
36	トー及びアッカーマン調整					
37	トー及びアッカーマン調整					
38	トー及びアッカーマン調整					
39	トー及びアッカーマン調整					